

「徳川家康ゆかりの市内史跡を知るウィーク」の開催について

1 家康ゆかりの史跡紹介と府中御殿跡から発掘された考古資料の展示

徳川家康は本市ゆかりの人物です。市内中心部にあるゆかりの史跡の紹介と府中御殿跡（国史跡武蔵国府跡国司館地区）から出土した遺物の一部を展示します。

(1) 会期

7月19日（水）～30日（日） 午前9時～午後5時

※24日（月）は休館

(2) 会場

ふるさと府中歴史館1階

(3) 主催

府中市

2 大國魂神社の歴史解説と境内東照宮社殿の特別見学

府中の東照宮は、江戸時代の人々が徳川家康を祭神として祀った神社で、普段は一般開放していませんが、以下の開催日時で大國魂神社神職の解説とともに、特別に見学することができます。

(1) 開催日時等

7月22日（土）、23日（日）、29日（土）、30日（日）

各日午前10時～・午後2時～

※所要時間は約30分を予定しています。

※見学にかかる費用、人数制限はありません。

※希望者は各回の開催時間までに、大國魂神社社務所南側の休憩所へ。

(2) 主催

大國魂神社

3 同時開催 大河ドラマ「どうする家康」パネル展

大河ドラマ「どうする家康」（NHK）の主な登場人物（9名）の全身パネルと、ドラマの名シーンのパネルを展示します。パネルは撮影可能です。

(1) 会期

7月19日（水）～30日（日） 午前9時～午後5時

※24日（月）は休館

- (2) 会場
ふるさと府中歴史館1階
- (3) 主催
NHK首都圏局



大河ドラマ「どうする家康」(NHK)の主な登場人物(9名)の等身大パネル